

「外濠 Vision 2036」について

2019年3月25日に開催されるシンポジウム「地域から外濠の再生を考える」では、パンフレット「外濠 Vision 2036」を配布し、その内容をご紹介します。「外濠 Vision 2036」とは1636年の外濠開削から400周年にあたる2036年を目途に、その時にはこのような外濠にしたい、というビジョンを示すものです。

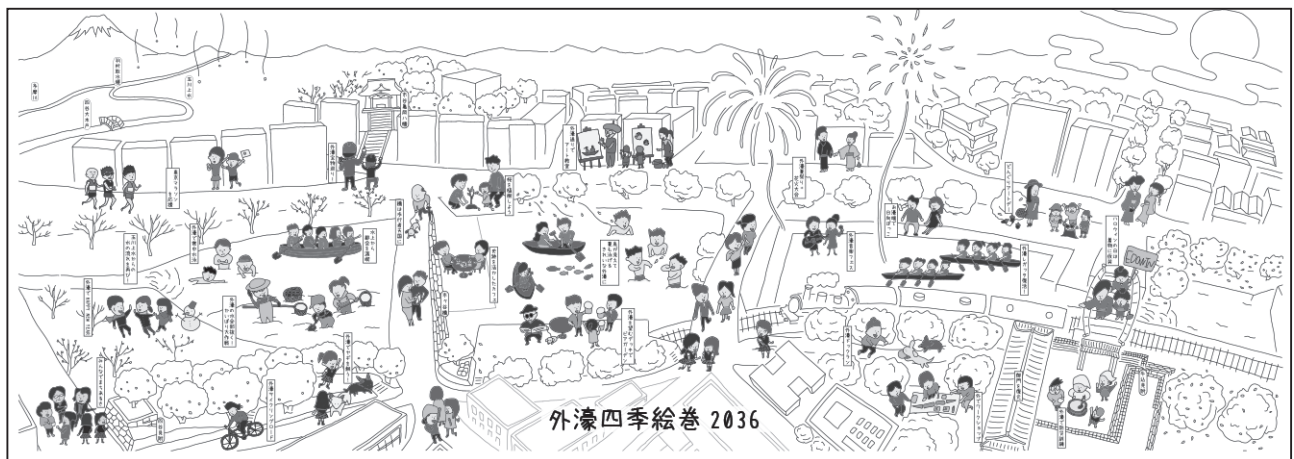
「外濠 Vision 2036」の内容は、外濠に関わる関係者の行動規範としての「外濠再生憲章」と、このように外濠を使いたい、というアイデアを絵柄にした「外濠四季絵巻」からなります。外濠四季絵巻は、これまで外濠市民塾におけるワークショップで地域の皆さんや大学生・高校生から出されたアイデアを、法政大学・東京理科大学・日本大学・中央大学の学生チームが協働して楽しい絵柄にまとめたものです。



「外濠 vision 2036」の表紙イメージ

1. エコシステムとしての外濠
2. 生活・防災の場としての外濠
3. 経済・賑わいの場としての外濠
4. 交流・教育の場としての外濠
5. 歴史的資産としての外濠

「外濠再生憲章」の構成



「外濠四季絵巻」のイメージ